

[6] カーボヴェルデ

主要経済指標等 (2012年)

●人口	49万人
●GNI 総額	17.25億ドル
●GNI 一人あたり	3,610ドル
●経済成長率	1.2%
●失業率	7.6%
●対外債務残高	12.61億ドル
●援助受取総額 (支出純額)	2.46億ドル
●DAC分類	低所得国
●世界銀行分類	iii/低所得国

出典) WDI (世界銀行) 等。詳細は解説参照

表-1 我が国の対カーボヴェルデ援助形態別実績 (年度別)

(単位: 億円)

年 度	円借款	無償資金協力	技術協力
2009 年度	—	6.45	2.86(2.59)
2010 年度	—	3.55	1.72(1.69)
2011 年度	61.86	2.58	0.34(0.34)
2012 年度	—	0.06	0.48(0.48)
2013 年度	152.92	0.15	0.21
累 計	259.46	158.42	23.42(22.99)

※脚注参照

ミレニアム開発目標 (MDGs) 代表的な指標

	過去データ	最新データ
●目標 1: 1日1.25ドル未満で生活する人々の割合	—	21.0%(2002)
●目標 2: 初等教育における純就学率	99.0%(1990)	93.8%(2011)
●目標 3: 初等教育における男子生徒に対する女子生徒の比率 (男子を1とした時の女子の人数)	0.97人(1990)	0.92人(2011)
●目標 4: 5歳未満児の死亡数 (1,000人あたり)	61.5人(1990)	22.2人(2012)
●目標 5: 妊産婦の死亡数 (出生児10万人あたり)	200人(1990)	79人(2010)
●目標 6: 15~49歳のHIV感染率 (100人あたりの年間新規感染者数の推定値)	—	0.08%(2012)
●目標 7: 改良飲料水源を継続して利用できる人口の割合	80.4%(1992)	88.7%(2011)

出典) Millennium Development Indicators (The Official United Nations Site for the MDG Indicators)

カーボヴェルデに対する我が国ODA概要

1. 概要

我が国は、カーボヴェルデ独立直後の 1978 年から経済協力を実施している伝統的開発パートナーである。1979 年以来、同国の基幹産業である水産分野において漁港整備等水産無償を実施してきたほか、経済社会発展に資する給水等インフラ整備において無償資金協力を実施してきた。さらに 1980 年から 2011 年まで毎年、食糧援助を実施してきた。

島嶼国であるカーボヴェルデは 2007 年末に後発開発途上国 (LDC) を卒業し、現在は中進国への移行期にある。同国に対する経済協力は無償資金協力から円借款に移行しつつあるが、同国は依然貧困層が少なくなく、貧困削減が引き続き大きな課題となっており、草の根・人間の安全保障無償資金協力や食料援助も引き続き実施している。

2. 意義

カーボヴェルデは、狭い国土、離島という隔絶された地理条件、降雨量が少なく穀物生産が不可能な気候条件、天然資源の欠如等経済的に不利な条件を多く抱えている中で、民主的な政権交代を繰り返す民主主義が定着した国である上、中進国への移行に向けた経済構造の転換期にあることから、同国の経済発展努力や持続可能な成長および貧困削減に向けた取組を支援することは、他のアフリカ諸国に民主主義と経済発展のモデルを示す観点からも意義がある。

また、同国のインフラ整備を円借款で支援することは、同国の必要とする我が国の高い技術を活用する観点から意義がある。また、同国は広大な排他的経済水域を擁し、同水域で漁業を行っている我が国にとって重要である。

3. 基本方針

持続可能で安定した成長の支援: カーボヴェルデは、民主主義の定着と良好なガバナンスを基盤に成長を遂げていることから、格差は正と貧困削減に資する支援も実施する。

4. 重点分野

- (1) 経済基盤整備: 特に経済発展に不可欠な、電力・水分野を中心とする経済社会基盤の強化を支援する。
- (2) 社会基盤整備: 一定数の国民はいまだ貧困層であり、また地理的、気候的要因により気候変動に対して脆弱であることを踏まえ、貧困削減および気候変動対策に資する支援を行い、同国の安定した社会運営を後押しする。

※注) 1. 年度の区分および金額は原則、円借款および無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 2009年~2012年度の技術協力においては、日本全体の技術協力の実績であり、2013年度の日本全体の実績については集計中であるため、JICA実績のみを示している。
()内はJICAが実施している技術協力の実績および累計となっている。

カーボヴェルデ

表-2 我が国の年度別・形態別実績詳細（表-1の詳細）

(単位：億円)

年 度	円借款	無償資金協力	技術協力
2011 年度	61.86 億円 ・送配電システム整備計画 (61.86)	2.58 億円 ・食糧援助(1 件) (2.40) ・草の根・人間の安全保障無償(2 件) (0.18)	
2012 年度	なし	0.06 億円 ・草の根・人間の安全保障無償(1 件) (0.06)	
2013 年度	152.92 億円 ・サンティアゴ島上水道システム整備計画 (152.92)	0.15 億円 ・草の根・人間の安全保障無償(2 件) (0.15)	
2013 年度 までの累計	259.46 億円	158.42 億円	23.42 億円(22.99 億円) 研修員受入 323 人 専門家派遣 12 人

注) 1. 表-1 注釈同様

2. 技術協力においては、2011 年度以降に開始され 2013 年 4 月の時点で継続中の技術協力プロジェクト案件のみを掲載している。案件の [] 内は、協力期間。

表-3 我が国の対カーボヴェルデ援助形態別実績 (OECD/DAC 報告基準)

(支出純額ベース、単位：百万ドル)

暦 年	有償資金協力	無償資金協力	技 術 協 力	合 計
2009 年	1.49	14.63	1.75	17.87
2010 年	6.73	7.35	3.32	17.40
2011 年	20.63	4.74	1.17	26.54
2012 年	8.11	4.12	0.42	12.64
2013 年	14.30	0.96	0.30	15.56
累 計	51.27	131.19	23.07	205.56

出典) OECD/DAC

- 注) 1. 国際機関を通じた贈与については、2006年より、拠出時に供与先の国が明確であるものについては各被援助国への援助として「無償資金協力」へ計上することとしている。また、OECD/DAC事務局の指摘に基づき、2011年には無償資金協力で計上する国際機関を通じた贈与の範囲を拡大した。() 内は、国際機関を通じた贈与の実績 (内数)。
2. 有償資金協力および無償資金協力は、これまでに交換公文で決定した約束額のうち当該暦年中に実際に供与された金額 (有償資金協力については、カーボヴェルデ側の返済金額を差し引いた金額)。
3. 有償資金協力の累計は、為替レートの変動によりマイナスになることがある。
4. 技術協力は、JICAによるもののほか、関係省庁および地方自治体による技術協力を含む。

表-4 諸外国の対カーボヴェルデ経済協力実績

(支出総額ベース、単位：百万ドル)

暦 年	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	うち日本	合 計
2008 年	ポルトガル 68.95	米国 23.80	スペイン 20.31	ルクセンブルク 19.44	オランダ 11.67	5.29	171.31
2009 年	ポルトガル 59.26	米国 36.41	スペイン 21.00	日本 17.87	ルクセンブルク 14.24	17.87	169.72
2010 年	ポルトガル 146.56	米国 37.12	スペイン 21.24	日本 17.40	ルクセンブルク 16.87	17.40	254.80
2011 年	ポルトガル 151.78	日本 26.54	スペイン 15.94	ルクセンブルク 15.21	米国 9.38	26.54	231.05
2012 年	ポルトガル 171.20	ルクセンブルク 18.15	日本 12.64	フランス 5.73	スペイン 5.53	12.64	222.79

出典) OECD/DAC

表-5 国際機関の対カーボヴェルデ経済協力実績

(支出総額ベース、単位：百万ドル)

暦 年	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	そ の 他	合 計
2008 年	EU Institutions 27.95	IDA 20.79	BADEA 6.96	OFID 3.71	AfDF 2.09	4.87	66.37
2009 年	EU Institutions 22.56	AfDF 9.55	IDA 3.76	BADEA 2.86	OFID 2.12	5.12	45.97
2010 年	EU Institutions 36.93	IDA 25.45	AfDF 18.66	OFID 2.44	BADEA 2.14	7.93	93.55
2011 年	EU Institutions 32.40	OFID 2.79	AfDF 2.41	GFATM 2.28	GEF 1.91	8.80	50.59
2012 年	IDA 16.02	EU Institutions 11.89	OFID 4.67	BADEA 2.58	GEF 1.76	6.66	43.58

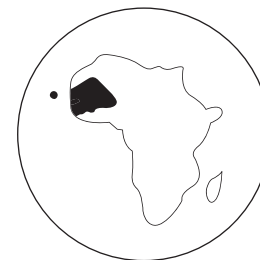
出典) OECD/DAC

注) 順位は主要な国際機関についてのものを示している。

表-6 2013 年度草の根・人間の安全保障無償資金協力案件

案 件 名
ブライア漁港の衛生検査施設整備計画 ブライア市ゴミ収集車両整備計画

主なプロジェクト所在図 カーボヴェルデ、ガンビア、セネガル、マリ、モーリタニア



- ⑬セネガル日本職業訓練センター機能強化プロジェクト(11)
- ⑬理数科教育改善プロジェクト(11)
- ⑬母子保健サービス改善プロジェクト(フェーズ2)(12)

- 〈セネガル全国対象プロジェクト〉
- ⑬貧困農民支援(12)(13)
- ⑬食糧援助(WFP 連携)(11)

- 〈セネガル ルーガ州、カオラック州対象プロジェクト〉
- ⑬ルーガ州及びカオラック州中学校建設計画(12)

- 〈セネガル タンバクンダ、ケドゥグ、マタム州対象プロジェクト〉
- ⑬タンバクンダ、ケドゥグ、マタム州村落衛生改善プロジェクト(11)

- ⑬ダカール州郊外中学校建設計画(13)

- 〈カーボヴェルデ全国対象プロジェクト〉
- ⑬食糧援助(11)

- ⑬送配電システム整備計画(11)
- ⑬サンティアゴ島上水道システム整備計画(13)

- ⑬ファティック州教員研修センター整備計画(13)

- 〈ガンビア全国対象プロジェクト〉
- ⑬食糧援助(11)

- 〈モーリタニア全土対象プロジェクト〉
- ⑬食糧援助(11)(12)

- ⑬ヌアティフ漁港拡張整備計画(13)

- ⑬ヌアクショット

- ⑬学校運営委員会支援プロジェクト フェーズ2(11)

- 〈マリ広域対象プロジェクト〉
- ⑬緊急無償(アフリカ主導国際マリ支援ミッション 支援国連信託基金に対する緊急無償資金協力)(12)

- ⑬マリ-セネガル南回廊道路橋梁建設計画(11)
- ⑬第二次マリ-セネガル南回廊道路橋梁建設計画(11)
- ⑬第三次マリ-セネガル南回廊道路橋梁建設計画(11)

